

# 急傾斜地等における果樹園地での侵入防止柵の補強対策

## 1 背景

- 愛媛県では鳥獣による農作物被害額の57%がイノシシによる被害で、また、作物別では果樹の被害が75%を占めています（令和4年度）。
- 果樹園地におけるイノシシへの対策は、ワイヤーメッシュ（以下、WMという。）等の侵入防止柵設置が主流ですが、防止柵を突破される事例もあり、県育成品種等高単価の柑橘に移行しつつある現在では、侵入による被害金額の増加が懸念され、防柵の補強が重要な対策となっています。
- ただ、愛媛県では傾斜地が多く、隣接地に荒地が迫っている等十分な用地が確保できない等、作業が難しい園地が多いのが現状です。



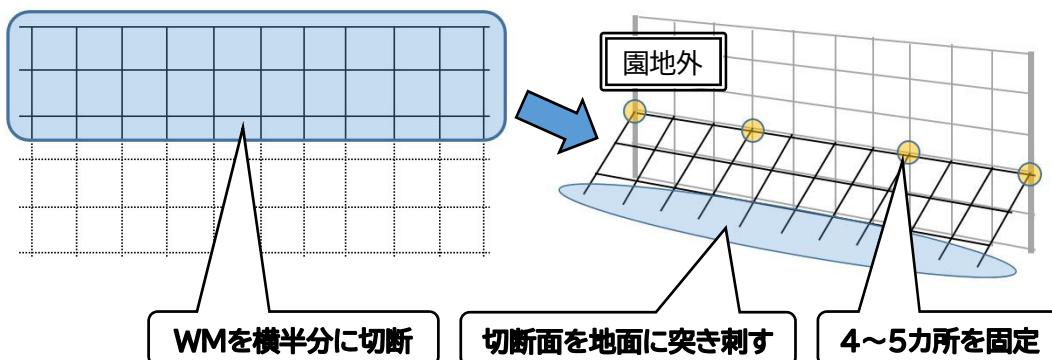
愛媛県の樹園地は傾斜地や荒地の隣接地が多い

## 2 方法

- 補強対策は、L字に折り曲げたWMによる補強で掘り返し等を防止するのが一般的です。
- イノシシは侵入防止柵を突破する際に、柵を鼻先で持ち上げることがあり、持ち上げを防止する対策を講じることが必要です。
- 傾斜地や用地が狭い場所で適用可能な手法として、ハーフサイズのWMを柵の外側から斜めに固定する手法を実証しました。

## 3 設置

- WMを横半分に切断します。
- 樹園地に設置した侵入防止柵の外側に斜めに設置し、上部（4～5カ所）を既存の柵に固定、下部は地面に突き刺し、動きにくいようにします。



## 4 結果

- 約3カ月設置したところ、この方式で補強した侵入防止柵から突破された事例は確認していません。



イノシシが柵を突破しようとしましたが



あきらめて退散しました

## 5 考察

- 現状は短期間での実証結果です。
- 県内では、L字型WMでの侵入防止柵補強が困難な樹園地が多いことから、他の場所でも有効な手段であると考えられます。

※詳細は「動画で見る有害獣捕獲マニュアル」に掲載しています。

URL : <https://ehime-hunting.com/pages/?p=5407>

